

導入機能と使い方について

(1) 庁舎機能

① 行政サービス

- ・窓口のワンフロア集約やワンストップサービスを検討
- ・ユニバーサルデザインの導入
- ・バリアフリー法に基づく整備
- ・市民のプライバシーに十分配慮した相談スペース等の配置など



(2) 防災機能

- ・耐震性と安全性を確保し、災害対策本部としての機能発揮、及び周辺住民の避難場所として提供が可能な整備
- ・災害時だけでなく、日常的にも利用可能な施設機能の確保など



② 執務環境及び施設管理、運用

- ・機能の分散、集約化に対応できるフロア
- ・自然エネルギーの活用や省エネルギー化の推進
- ・維持、管理、運営がしやすく、経済性を兼ねた整備の実施など



(3) 議会機能

- ・議場の多様性のある利用方法と使い勝手の良いフラットな形状
- ・将来的な変動要因に柔軟に対応できるように、可変性を確保した整備
- ・議会活動だけでなく、多目的に利用できる機能を備えた整備など



(4) コンベンション・ホール機能

- ・大ホールは基本性能を重視した設備とし、座席数500席程度の規模
- ・固定席としないことで災害時の避難場所として活用可能な整備
- ・多目的ホールには多目的・多用途の活用が出来る設備など



(6) 交通結節点機能・情報発信機能

- ・旧JR留萌駅周辺に分散したバス待合機能の統合を検討
- ・市内巡回バスや都市間バスターミナル機能、来朝者駐車場の確保
- ・情報発信機能の充実させ、地域のまちづくりや観光情報等を発信



など

(5) 市民交流機能、事務所機能

- ・1階への商業テナントの導入検討や交流スペースの設置
- ・市民活動を支援し、中高生が学習できるスペースの整備を検討
- ・地域の情報センターとして情報を幅広く収集、提供できる場など

